

■著者紹介

宗田貴行（そうだ・たかゆき）

獨協大学法学部教授・法学博士

慶應義塾大学法学部卒業（1996年）、奈良産業大学法学部専任講師・助教授、
獨協大学法学部准教授を経て、2020年4月1日より現職
経済法、消費者法、民事訴訟法専攻

ドイツ・ザールラント大学留学（1999-2000年）（DAAD 奨学金）

公正取引委員会「団体訴訟制度に関する研究会」会員（2005年）

経済産業省「迷惑メール規制に関する技術的論点 WG」会員（2007年）

日本民事訴訟法学会理事（2013-2015年）

ドイツ・マックスプランク研究所（外国私法・国際私法）客員研究員（2018-2019年）

〔主要著作・論文〕

『団体訴訟の新展開』慶應義塾大学出版会（2006年）

『迷惑メール規制法概説』レクシスネクシス・ジャパン（2006年）、電気通信普及財団
第21回テレコム社会科学賞奨励賞受賞（2005年）

『独禁法民事訴訟』レクシスネクシス・ジャパン（2008年）

『消費者法の新展開』慶應義塾大学出版会（2009年）

『消費者団体訴訟の理論』信山社（2021年）

「独禁法・景表法違反に係る消費者被害救済の改善」日本経済法学会年報40号（2019年）

「ドイツ競争制限禁止法上の行政処分による集団的消費者被害救済」慶應法学42号
（2019年）

「ドイツにおけるムスタ確認訴訟制度の運用—ディーゼル排ガス不正プログラム事件
を素材として—」国民生活研究59巻1号（2019年）

* 上記の3論文および近年の一連の研究業績を踏まえ、公益財団法人公正取引協会第
35回横田正俊記念賞受賞（2020年）